

林業事業体の強化（事業戦略づくり）について

事業体の強化のポイント

原木生産のさらなる拡大のためには、林業事業体が生産性の向上により収益の増加と労働環境の改善により働きやすい職場となるなど、経営基盤を強化していくことが必要。このために、林業事業体に対して、経営力強化につながる事業戦略づくりを喚起し、経営指導と労働生産性の向上への取組の支援を行う。

◎ボトルネックの解消(事業活動の見直し) → 生産性の向上 → 利益の確保 → 労働環境の改善(賃金・福利厚生) → 新規就業者の確保・林業就業者の定着率の向上 → 生産性の向上 → 森林所有者への還元の増加 → 事業地の拡大 → 更なる経営基盤の強化 → ……

具体的な内容

事業モデルとなり得る林業事業体を選定し、事業戦略の策定とその実践を重点的に支援することにより、原木生産の核（モデル）となる林業事業体を育成する

R元

R2~

戦略1：労働環境改善に向けた取組

戦略2：労働生産性の向上・経営基盤の強化に向けた取組

労働環境の改善に向け、雇用管理改善推進アドバイザーを配置し、事業体ごとの課題を掘り下げ

【現状】

- ・ 離職者のうち若年層の割合が高い
- ・ 社会保険制度等への加入率は80%程度
- ・ 月給制への移行が進みつつあるが、割合は24%
- ・ 他産業に比べ高い労災発生率
- ・ 改善計画の未達 など

【事業体ごとの課題：例えば】

- ・ A社：事業量に変動があるため日給制
- ・ B社：機械器具が不足しているため、労災が発生
- ・ C社：経営者のスキルが不足

各事業体ごとの現状・課題を
カルテ化

新たな支援

★林業事業体の事業戦略の策定

事業体の課題解決と成長を可能とする計画の策定とその実践への支援

○事業体の労働環境の改善、労働生産性の向上への計画を策定

【計画内容】

- ・ 利益を生むための適正な人と機械の配置
- ・ 現場に合った作業システム・労働安全
- ・ 従業員に対する利益の分配（給与体系の改善）
- ・ 効果的な設備投資 など

○事業体が計画を実践（計画実践を指導）

計画の実践から管理手法の定着までトータル的に支援。

労働生産性の向上・労働環境の改善

PDCAサイクルの反復によるステップアップ

○支援チーム

- 【県】+【林業労働力確保支援センター】
- ・ 雇用管理改善推進アドバイザー
 - ・ 経営コンサルタント

目指す成果

持続可能な成長と木材増産を行うことができる林業事業体の誕生